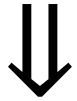




成長期におけるジェンダー論教育



女性が社会で活躍するためには…



**成長期からジェンダーについて学ぶ機会を与え、
固定観念にとらわれない価値観を育む教育が不可欠である！**



なぜ成長期に学ぶ必要があるのか？

- ・成長期は価値観や考え方が形づくられる大切な時期
- ・成長期に「男だから」「女だから」という固定概念を学んでしまうと、大人になってから無意識に偏見をもち続けてしまう



ジェンダーについて学ぶことで、
固定概念にとらわれない価値観を育てられる！



【学校教育の現状】

良い点

- ・教職員の男女比があまりない
- ・苗字呼びの徹底
(～ちゃん、～くんは無し)
- ・保健の授業がある

改善点

- ・保健室の先生や給食センターにいる人は女性が多い
- ・校長、教頭先生の男女に偏りがある
- ・ジェンダーの教科が必要



① 制服の自由化

② 役割の固定観念

③ 教材の見直し



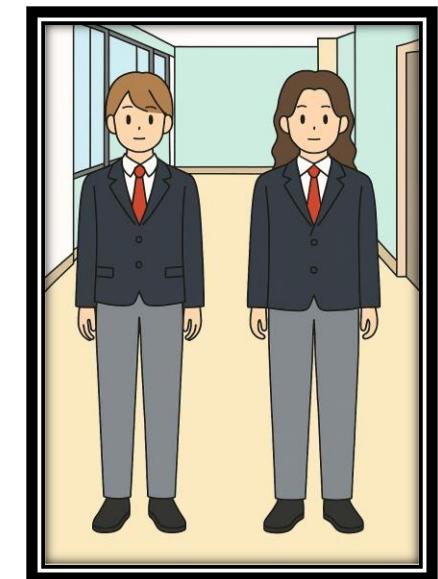
① 制服の自由化



男子はズボン、女子はスカートのイメージが強い！

性別による区別を自然なものとして感じさせてきた

→制服の選択制は、性別にとらわれない意識を育てる





クイズ！





この中で制服の自由化が進んでいる国はどこでしょう

1. 日本
2. 中国
3. フランス





正解は

2. 中国



② 役割の固定観念

校長先生や教頭先生は男性の方が多い

校長数	20,531	9,469	3,593
女性(内数)	(3,827)	(532)	(208)
教頭数	19,112	9,204	4,865
女性(内数)	(4,072)	(720)	(365)



③教材の見直し

道徳の時間に「ジェンダー教育」を取り入れる

→ 「男性＝助ける存在」「女性＝助けられる存在」という
固定観念をなくす



逆転童話プロジェクト



逆転童話プロジェクトとは

童話や昔話に登場する

人物の性別役割を逆転させ、

「男性＝英雄」 「女性＝受け身」

というステレオタイプを再考するきっかけをつくる

童話を逆転...?
どういうことなのだ?



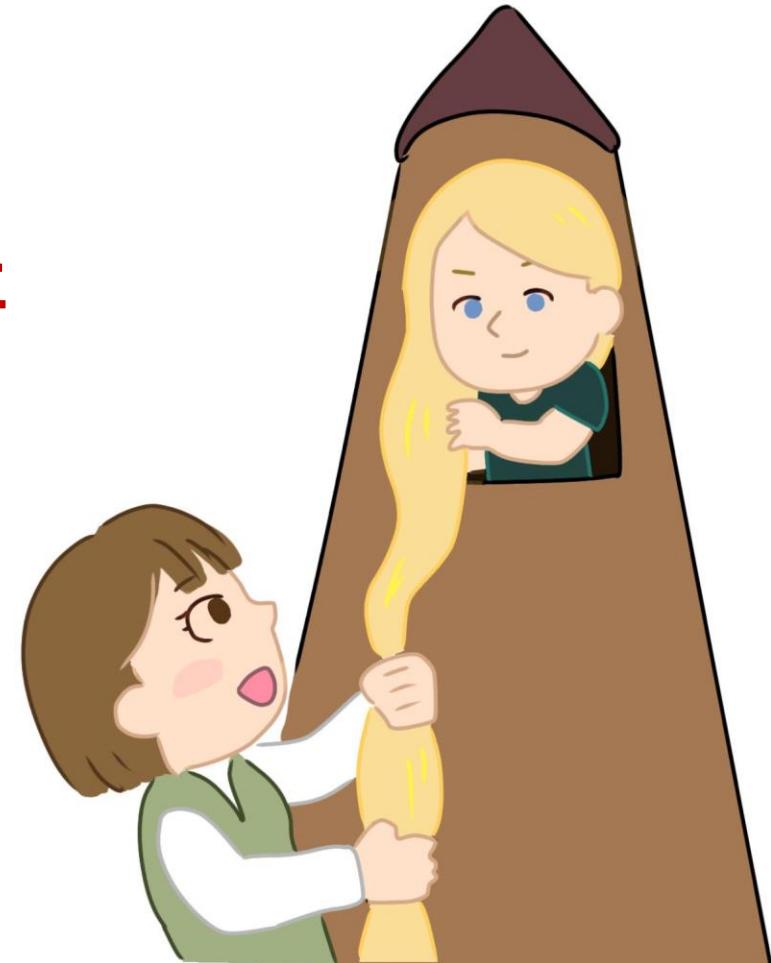


①塔の上のラプンツェル

ラプンツェル→長い髪を持つ青年

フリン・ライダー→勇敢な少女

ゴーテル(魔女)→魔男





あらすじ

美しい長髪を持つ青年は魔男に「外の世界は危険だ」と高い塔に閉じ込めていた。森を旅していた勇敢な少女は塔から響く青年の歌声を耳にする。少女は塔に登り青年と出会う。青年は外の世界への憧れを少女に語り心を開く。少女は彼の孤独と切なる願いを感じ取り助ける決意をする。魔男は二人の絆を妨げようとするが、

、 、



②美女と野獣

ベル

→ 町に住む変わった青年

野獣（アダム王子）

→ 野獣にされたわがままなお姫様





あらすじ

昔々、冷酷で傲慢な姫は、助けを求める魔女を追い返してしまいました。怒った魔女は姫を恐ろしい野獣に変え、城に呪いをかけます。

時が流れ、村に住む聰明で心優しい少年ベルが登場します。彼は本や物語を愛し、周囲から少し風変わりだと思われていました。やがてベルは運命に導かれるように野獣の城へと足を踏み入れ、二人の物語が始まっています。



逆転プロジェクトで得られる効果

男性が助けられる側であることの肯定

女性が救う側であることの自然さ

→性別にとらわれない自己イメージ持てるようになる



参考資料

- 日本の国会議員の女性比率 - 立憲民主党
- 世界の女性議員割合 国別ランキング・推移 - GLOBAL NOTE
- なぜフランスは今、学校制服を導入するのか？～世界の学校制服事情と日本のこれから - 学生服・スクールユニフォームメーカー 瀧本株式会社 スクールタイガー
- 校長等人数及び登用者数、県市別の校長等人数及び登用者数、校長・副校長・教頭の登用率の推移、校長・副校長・教頭に占める女性の割合



ご清聴ありがとうございました